

平成 23 年（2011 年）12 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（2 日目）

平成 23 年 12 月 8 日（木）

割当時間(答弁を除く)

自民・無所属連合	25 分
改 革 ク ラ ブ	20 分
民 主 党	20 分
そ う そ う	15 分
社 社 連 合	15 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	亀 島 賢二郎 (自民・無所属 連合)	1 公園整備について 2 防災行政について 3 普通教室冷房設置事業について	(1) 平成 24 年度実施計画の新規事業に「(仮称)立体都市公園等整備事業」とあるが、この事業の内容を伺う (2) 那覇市内には多くの公園があるが、どのような条件で場所を選んで進めていくのか伺う 小中学校並びに地域での地震、津波などの災害時における避難ルート、避難場所はどのようにして決定しているのか伺う 快適な教育環境づくりとして、小中学校普通教室に冷房設備を設置する事業であるが、平成 23 年度をもって最上階教室は完了となるが、今後の計画を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（2日目） 平成 23 年 12 月 8 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	屋 良 栄 作 (自民・無所属 連合)	1 大阪ダブル 選挙の結果に ついて	(1) 去る 11 月 27 日、大阪府知事・大阪市長の ダブル選挙が投開票され、市長選は大阪維新 の会代表で前知事、橋下徹氏が現職の平松邦 夫氏を約 23 万票もの大差で破り当選を果た し、知事選においても、大阪維新の会幹事長 の松井一郎氏が 2 位を約 80 万票差も引き離 し当選を果たした。いわゆる大阪都構想を争 点に争われたダブル選であるが、今後の地方 自治や国政への影響が注目されている 地方自治を担う首長として、大阪ダブル選 の結果に対する市長の所見を伺う
		2 沖縄セルラ ースタジアム 那覇の活用に ついて	(1) 去る 10 月 12 日から 16 日まで開催された 第 5 回世界のウチナーンチュ大会の開会式 と閉会式において、沖縄セルラースタジアム 那覇が使用されたが、好評であったと理解し ている。本市の見解を伺う (2) 来年 3 月に計画されている K-POP ア ーティストらによるコンサートの企画の概 要や進捗状況はどうなっているか。また、経 済効果はどのくらいあると見込んでいるか 伺う (3) K-POP コンサートの成功をバネにセ ルラースタジアムが本市本県にとどまらず 広く東アジアのエンタテインメントの発信拠 点としてますます輝いて欲しいと願うが、本 市の見解及び戦略について伺う
		3 市民会館の 建て替えにつ いて	平成 24 年度実施計画で、新規に新市民会館基 本構想策定支援が盛り込まれている。スケジュー ルや建設場所の選定等も当然かかわってくると 考えるが当局の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 2歳児歯科健診について	平成 24 年度実施計画中、新規に2歳児歯科健診が盛り込まれている。これまでの幼児歯科健診を拡充する理由について伺う 浦添市が2歳児歯科健診を廃止した事例から受診率を上げることが容易ではないと推察するが、本市として受診率への見解について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（2日目） 平成23年12月8日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	久 高 友 弘 (改革クラブ)	いなんせ斎苑 の運営について	(1) 平成22年度的那覇・浦添両市、また南部広域市町村圏内及び圏外のいなんせ斎苑利用者はおのの何件で全利用者に占める割合、また火葬料金について伺う (2) 友引の日に火葬業務が少なくなっている現況について伺う（平成20年度～平成22年度） (3) 県内22の火葬場で友引の日を休みにしている火葬場を伺う (4) 炉を2基増設した日時と理由を伺う (5) 受付業務だけをインターネットで対応した時の予算の内訳を伺う (6) 火入れ時刻を午前9時に変更した理由を伺う (7) 開門を午前8時にできないか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（2日目） 平成 23 年 12 月 8 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	花 城 正 樹 (民 主 党)	1 市長の政治 姿勢について	(1) 翁長市長は、「いい暮らしより楽しい暮らしを」というフレーズを施政方針の中でも強く訴え、物質的な豊かさだけではなく、心の豊かさを大切にし、人と人との絆を新たに紡ぎ出し、お互いが支え合うことができる仕組みづくりが大切だと述べている 先日、発表された【47 都道府県 幸福度ランキング】において沖縄県は、予想よりも低い 41 位という結果であった ※「安全・安心」「労働・企業」「生活・家族」「医療・健康」4 部門合計約 40 の指標で幸福度をまとめたもの その統計を受けて、どう分析するか。市長の見解を伺う (2) 中核市への移行を目指しながら、来年 11 月、翁長市政は、3 期 12 年の任期を終える 次の那覇市長に、どんな方針を引継ぎ、どのような改革を進めて欲しいか。現時点での見解を伺う
		2 出生動向基本調査（独身者調査）について	国立社会保障・人口問題研究所が行った独身者調査で、異性の交際相手がいない 18 歳～34 歳の未婚者が男性で 61%、女性で 49%に上り、いずれも過去最高となったことがわかった (1) 本市の独身者数（18 歳～34 歳）を問う (2) 統計を受け、どう分析するか。また今後の課題を伺う
		3 東日本大震災について	多くの人命や財産を失った 3 月 11 日の東日本大震災から、今月で 9 カ月が経過する (1) 現在も継続している本市としての取組みを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 教育行政について	(2) 本市がNPOなどの関係団体と連携して、毎月（または隔月）11日に義援金活動やバザー等のイベントを開催し、継続的支援の重要性を再認識する必要があると考える。見解を伺う (1) 学力格差の是正について ① これまで、どのような取り組みをしてきたか伺う ② 民間校長の適用や、秋田からの教師派遣など、これまでの取り組みについて、どう検証してきたのか、今後のポイントも含めて伺う (2) 久茂地小学校統廃合における合意形成に向けた協議のあり方について ① 第4回住民説明会の前に、決定事項が新聞掲載されたが、そのねらいを伺う ② 存続させる会の皆様が、市長との意見交換ができる場を求めているが、見解を伺う
		5 ベトナム視察について	民主党・社社連合・そうぞうの3会派は、ベトナムを視察した。前半は、南の経済都市ホーチミン、後半は北の首都ハノイを中心に訪問 沖縄にいる、多くの若者にもみて頂きたい文化やビジネススタイルがあり、刺激をうけた。行政や議会の視察だけでなく、さまざまな経済団体の青年部、あるいは大学生インターンなどの事業や仕組みがつくれないか考える そこで、若者インターン助成事業（仮称）の創設について、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 新庁舎建設 について	木育おもちゃ広場（仮称）の設置について (1) 木の良さや木材の利用などを学ぶ木育の意義と、本市の取り組みについて (2) 木育おもちゃ広場（仮称）設置の可能性について、伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（2日目） 平成23年12月8日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	新 屋 清 喜 (そうぞう)	1 中心市街地活性化について 2 観光行政について 3 消防行政について	水上店舗について、以下伺う (1) 築年数は何年か (2) 2階の現在の利用状況は、どうなっているのか (3) 今後の計画はどうなっているか (1) 数次ビザの利用状況はどうなっているか伺う (2) 那覇港大型旅客船バースは、何トン級の船まで接岸可能なのか伺う (3) DFSギャラリー・沖縄のクルーズ船への対応はどうなっているのか伺う (4) 中国語のガイド養成はあるのか伺う (5) 銀聯（ギンレン）カードが利用できる機械が設置されている店舗数は本市にどのくらいあるのか伺う (1) 過去3年における消防車両等のタイヤのバースト件数はどのくらいあるのか。点検及び整備はどのように行われているのか伺う (2) 消防用ホースの耐用年数はどのくらいなのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	下 地 敏 男 (社 社 連 合)	1 平和行政について	(1) 第3次嘉手納基地爆音差止訴訟について 第3次嘉手納基地爆音差止訴訟原告団は平和で安全な生活を求めて2011年4月28日3回目の提訴をしている 嘉手納基地にF15戦闘機は54機常駐し本土や米国からの外来機による爆音被害は激化している。事態打開に向けた市長の見解を伺う (2) 米軍普天間飛行場の辺野古移設に伴う環境影響評価書について 普天間飛行場の撤去・返還、辺野古新基地建設断固反対の県民の総意を踏みにじり野田政権は年内に環境影響評価提出を進めている。県議会並びに名護市議会は環境影響評価書提出断念を求めている さらに、更迭された田中前沖縄防衛局長の「犯す前にこれから犯しますよと言いますか」という卑劣な発言は頭を下げて済むことではない事は明らかであり、ましてや個人の舌禍としてはならず、野田政権・防衛省の奥底にある沖縄蔑視があることを見誤ってはならない。以下、見解を求める ① 政府の環境影響評価書の断念を求めることについて ② それでも政府が提出を強行した場合同書の受け取り拒否を沖縄県は明確にすべきと考えるが市長の見解を伺う ③ 田中前沖縄防衛局長の発言は個人の舌禍としてはならないことについて
		2 TPP参加について	TPP参加は農産物、工業製品、金融サービス、医薬品、食品安全など住民生活にダメージを与える要素を十分に含んでいるが、野田総理は国民に具体的なメリット、デメリットを示すことなくTPP交渉参加を表明した。以下、伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 古島団地問題について 4 不発弾処理行政について	(1) 政府のTPP参加交渉について (2) TPP参加で市民生活に及ぼす影響について 老朽化した古島団地に住む住民は廊下や壁に亀裂が入るなど大変危険な住環境にある 2005年2月16日、郵住協（当時）はパークレー社との間で「財団法人郵便貯金住宅等事業協会の事業・資産譲渡に関する協定書」を締結している。さらに同年2月28日理事会・評議会を開き同協定書を承認している。以下、伺う (1) 当時の理事であった翁長市長にも同団地住民同様に、居住を継続する権利を主張できると考えるが、見解を伺う (2) パークレー社が同協定書に定められた事項を履行せず、同団地住民に立ち退きを迫ることについて 久茂地川環境護岸工事が平成21年8月28日開始され、那覇市道から磁気探査で13カ所の異常反応があり、平成23年7月15日、異常点の1カ所から不発弾一発が発見され、陸上自衛隊によって処理された その後、地域住民から工事の安全性に問題があるとの指摘があり、同工事は一時中断されたが工事は再開された。以下、伺う (1) 道路内において、磁気探査による異常点を確認された状況で、道路法第24条に基づく道路工事施工承認ができるのか (2) 公共工事における磁気探査及び、民間工事における不発弾処理に対する具体的な対策があるか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 保育行政について	久茂地公民館（旧沖縄少年会館）については解体を急がず、市民の意見を十分に反映させ、話し合いの中から久茂地公民館の活用を考えなければならない 現在「沖縄の子どもを守る女性ネットワーク」、「沖縄少年会館を保存・活用させる会」、「沖縄県学童保育連絡協議会」などから同建物を保育園に活用する案などがあるが、当局の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長